

現地調査の実施状況

- ・ 1号機SGTS配管に対する測定
- ・ 2号機原子炉建屋内
- ・ 5号機原子炉建屋内

2023年12月25日

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

(1) 1号機SGTS配管に対する測定

(1) 1号機SGTS配管に対する測定

(1) 目的

東京電力福島第一原子力発電所事故時の1/2号機非常用ガス処理系(SGTS)配管内の流体挙動や流体形式の推定等に資するため、東京電力ホールディングス株式会社にて切断した1号機SGTS配管に対する表面線量率測定及びガンマカメラによる汚染分布の測定を行った。

(2) 場所 1号機タービン建屋屋上(1号機SGTS切断配管の保管場所)

(3) 調査日 2023年11月16日

(4) 調査実施者 原子力規制庁職員 7名

(5) 被ばく線量

最大: 1.06 mSv、最小: 0.87 mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

※調査結果等については、資料4-2にて説明。

(2) 5号機原子炉建屋内

(2) 5号機原子炉建屋内

(1) 目的

福島第一原子力発電所1号機及び3号機で確認されている事故初期高線量率の原因に関する検討に資するために、格納容器からの放射性物質の漏えい箇所として可能性のある箇所の構造等を確認する。

(2) 場所

5号機原子炉建屋

(3) 調査日

2023年12月7日

(4) 調査実施者

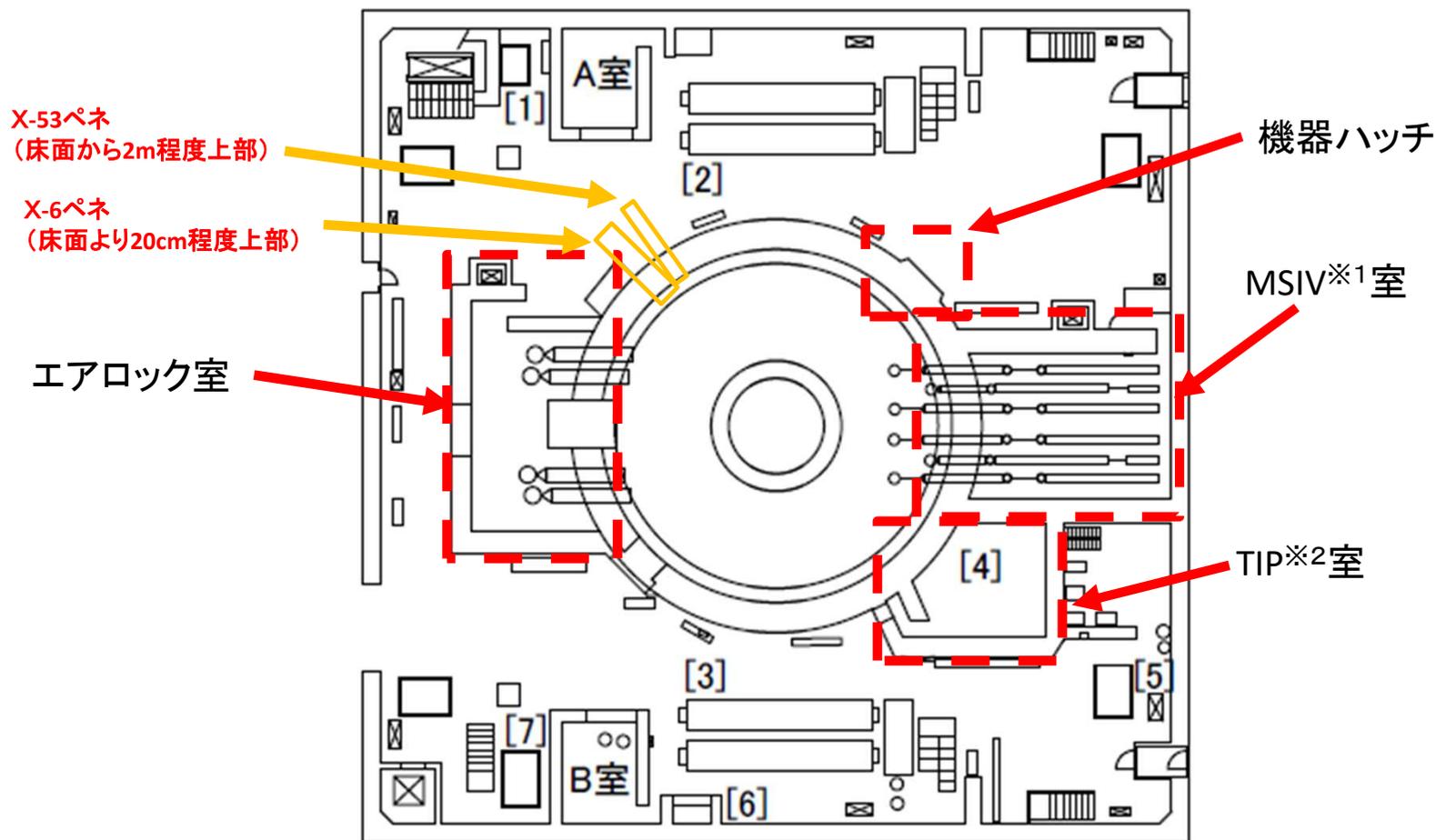
田中原子力規制委員会委員、原子力規制庁職員 3名

(5) 被ばく線量

最大: 0.00 mSv、最小: 0.00 mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

調査箇所（5号機原子炉建屋1階）



※1 : main steam isolation valve (主蒸気隔離弁)

※2 : Traversing In-core Probe (移動式炉心内計測装置)

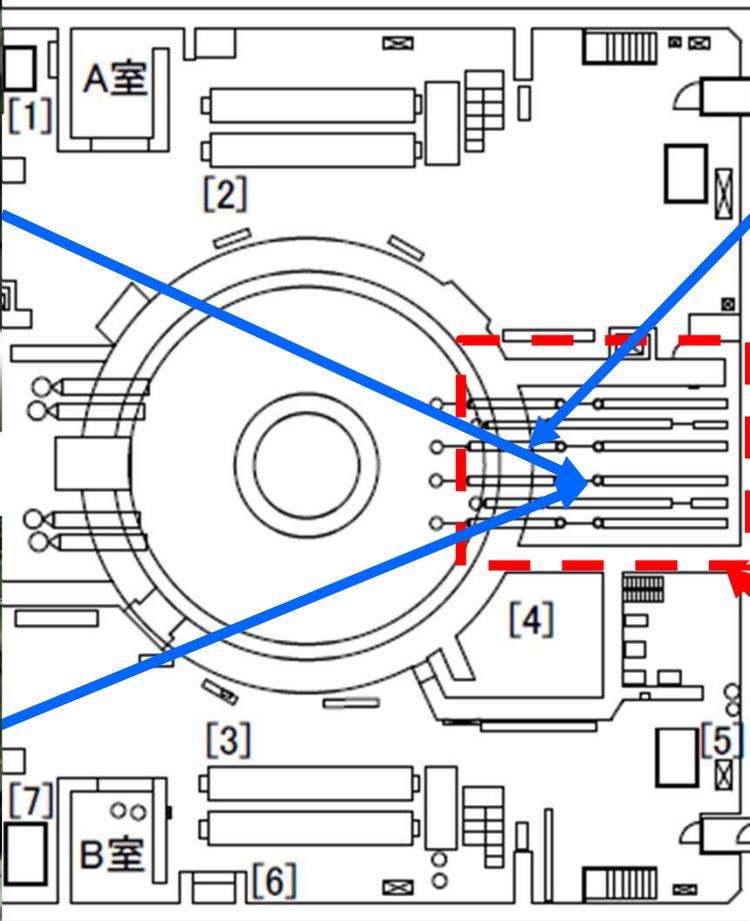
調査結果（5号機原子炉建屋1階）



隔離弁



隔離弁

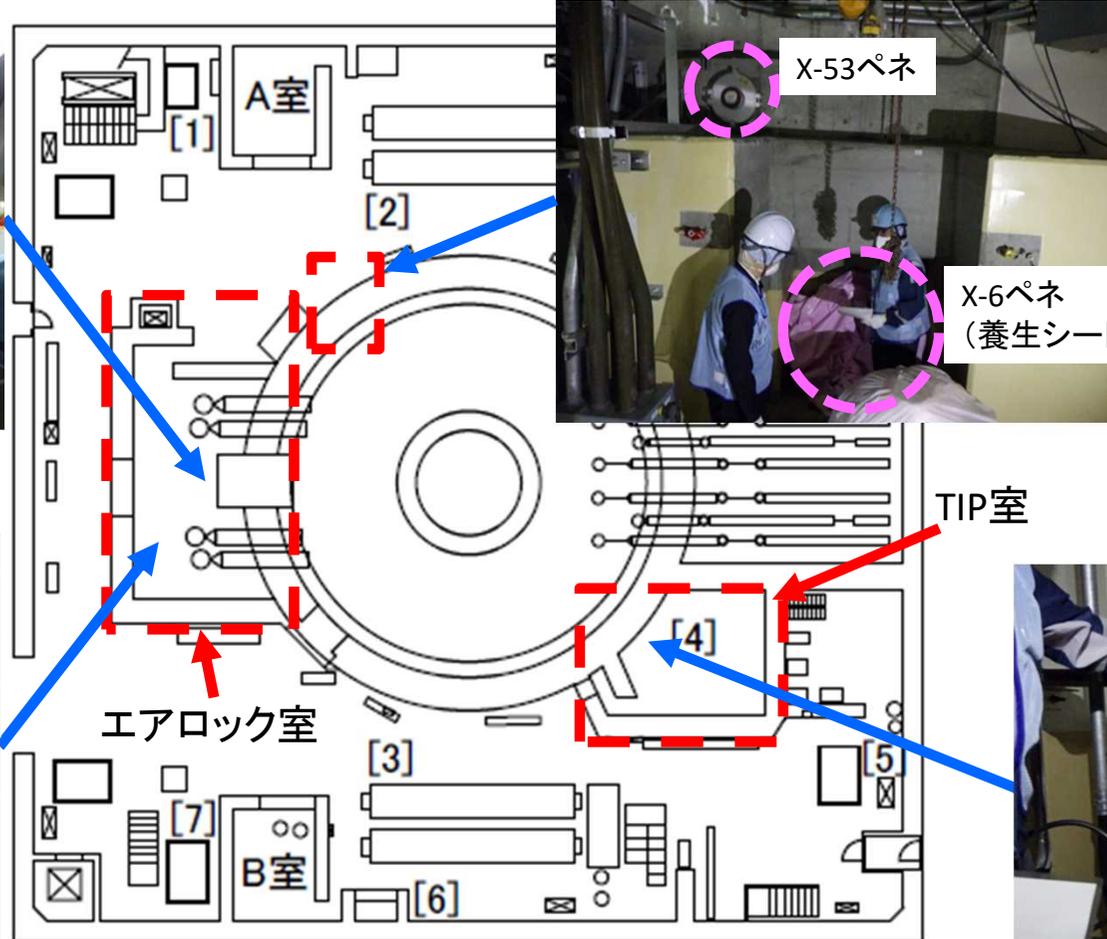


格納容器との接続部

MSIV室

写真は、いずれも2023年12月7日原子力規制庁撮影

調査箇所（5号機原子炉建屋1階）



X-53ペネ

X-6ペネ
(養生シートが被っている)



写真は、いずれも2023年12月7日原子力規制庁撮影

(3) 2号機原子炉建屋内

(3) 2号機原子炉建屋内

(1) 目的

福島第一原子力発電所2号機の放射性物質の放出経路の推定に資するために、2号機原子炉建屋1階フロア内各所、三角コーナー中地下階(1箇所:北東側)の放射線量率等を確認する。

(2) 場所

2号機原子炉建屋

(3) 調査日

2023年12月7日

(4) 調査実施者

田中原子力規制委員会委員、原子力規制庁職員 3名

(5) 被ばく線量

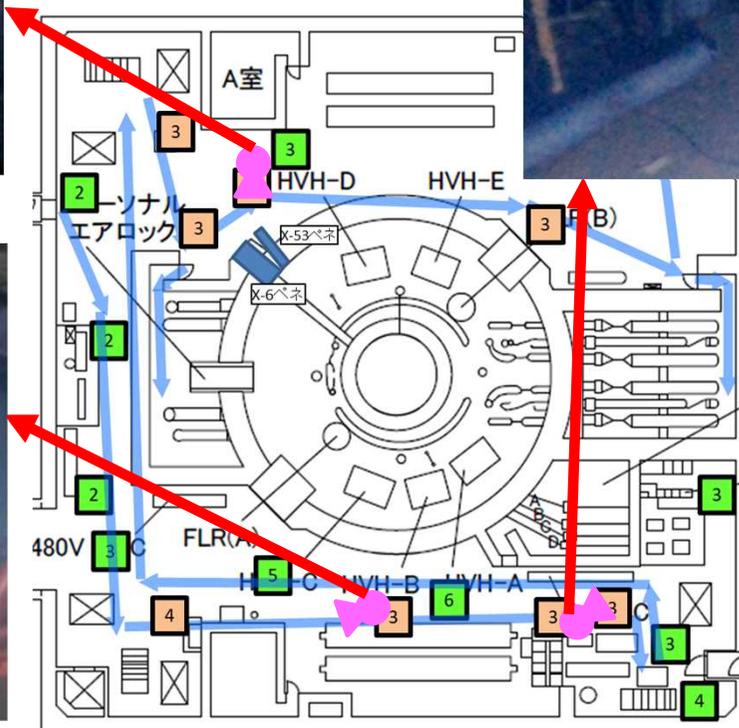
最大: 1.16 mSv、最小: 0.39 mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

調査結果（2号機原子炉建屋1階）

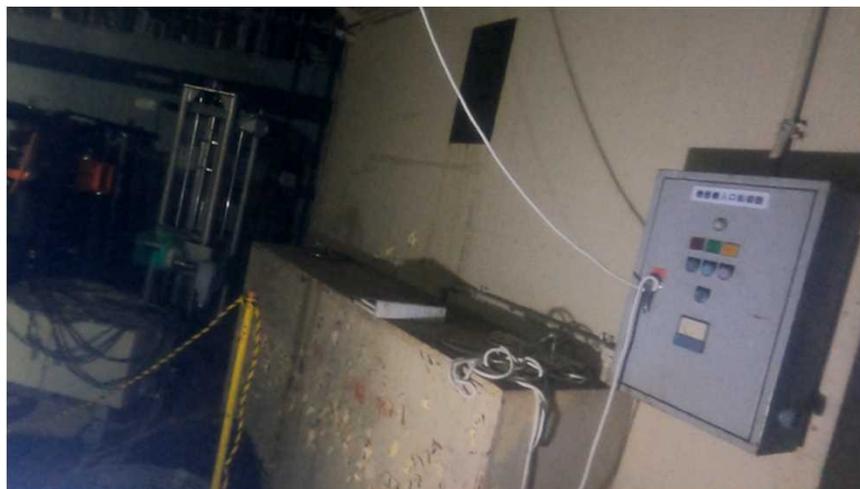


- : 空間線量率(mSv/h)
2022/11/30、原子力規制庁
- : 空間線量率(mSv/h)
2023/12/7、原子力規制庁



写真は、いずれも2023年12月7日原子力規制庁撮影

調査結果（2号機原子炉建屋1階）

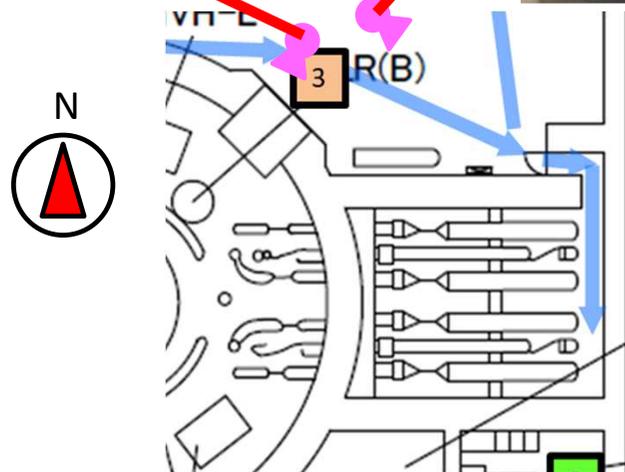


機器ハッチ



MSIV室入口付近

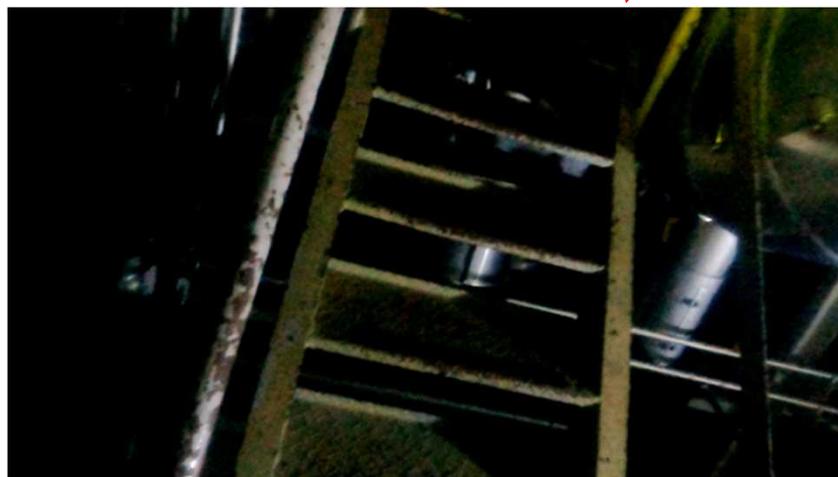
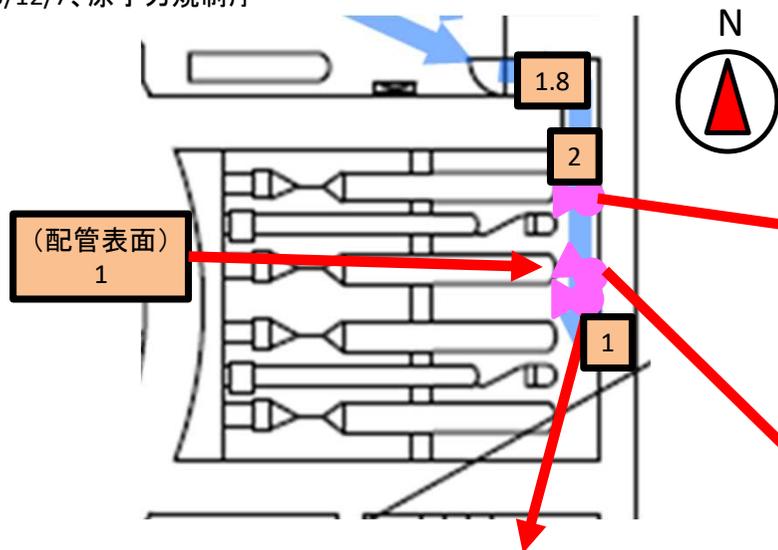
MSIV室入口



写真は、いずれも2023年12月7日原子力規制庁撮影

調査結果（2号機原子炉建屋1階：MSIV室内）

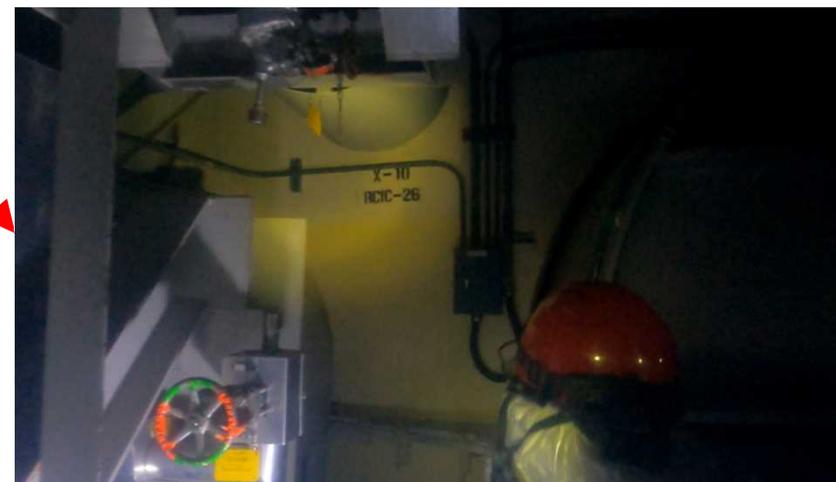
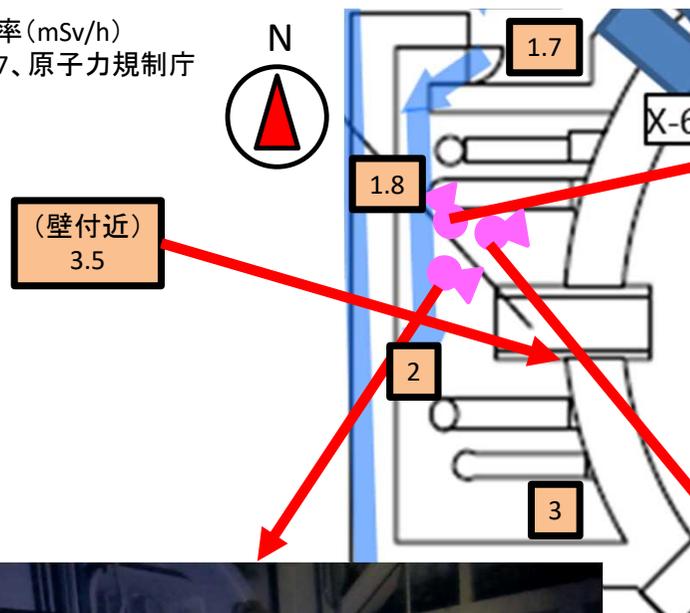
空間線量率 (mSv/h)
2023/12/7、原子力規制庁



写真は、いずれも2023年12月7日原子力規制庁撮影

調査結果（2号機原子炉建屋1階：エアロック室内）

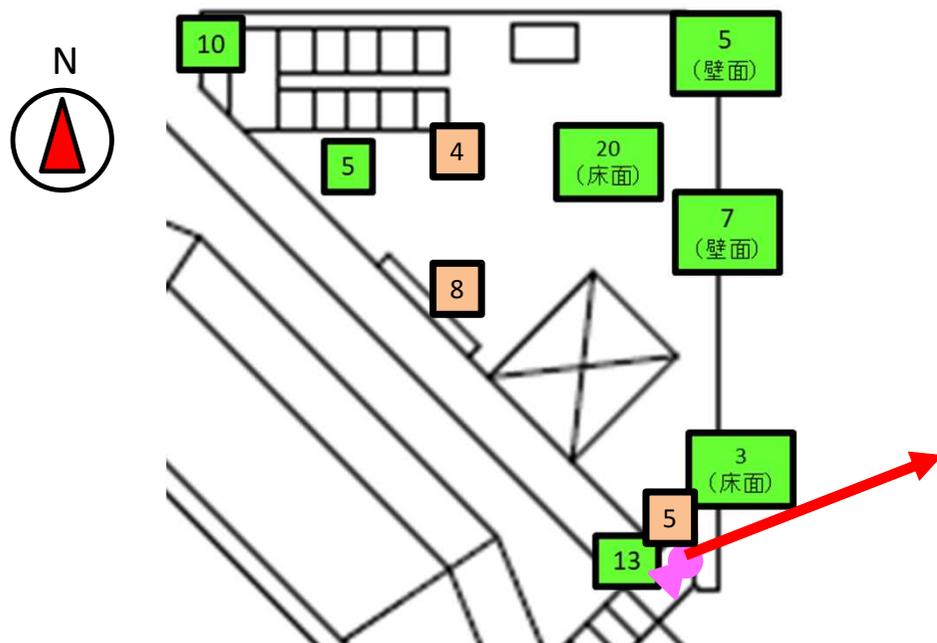
空間線量率 (mSv/h)
2023/12/7、原子力規制庁



写真は、いずれも2023年12月7日原子力規制庁撮影

調査結果（2号機原子炉建屋北東側三角コーナー一中地下階）

空間線量率 (mSv/h)
2023/12/7、原子力規制庁



写真は、2023年12月7日原子力規制庁撮影